

南部町長コメント

この度、南部町は「全国健康保険協会（協会けんぽ） 鳥取支部」と「南部町民の健康づくり事業に関する包括連携協定」を締結しました。

本町では、がんによる死亡や慢性腎不全・糖尿病などの生活習慣病による治療を受けている人が多く見受けられます。これらを早期発見できる手段の1つが健診ですが、本町の健診の受診率は、特に働き盛り世代の方が低い傾向にあります。受診率の向上に向けて、さまざまな取り組みを行ってはいませんが、伸び悩んでいるのが現状です。町民の皆様の健康寿命の延伸のために、健康意識を高めることや、受診率の向上が課題となっています。

この度の協定により、南部町民の皆様に対し、的確な健康づくり事業を提供するため、共同で健診の受診勧奨などの広報や、健診結果のデータ分析など健康づくりに資する様々な活動を行うことが可能となります。

また、データ分析は南部町国民健康保険・後期高齢者医療、協会けんぽを合わせますと、町民の約7割に及びます。働き盛り世代の方が多い協会けんぽとデータを合わせることで、幅広い世代の健康課題が明らかになります。それぞれの課題に即した事業展開によって、働き盛り世代の方を含む、町民の皆様の健康寿命の延伸や医療費の削減に繋がると期待できます。

今後、協会けんぽと連携をして、更なる健康づくりに取り組み、「行かいや！健診！」をスローガンに、町民の皆様の元気で健やかな日々を過ごしていただけるまちづくりを進めてまいります。



南部町長
坂本 昭文

